

内装の意匠登録事例集

目次

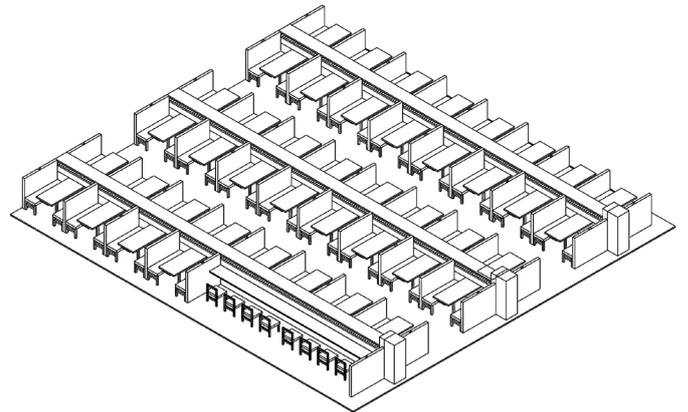
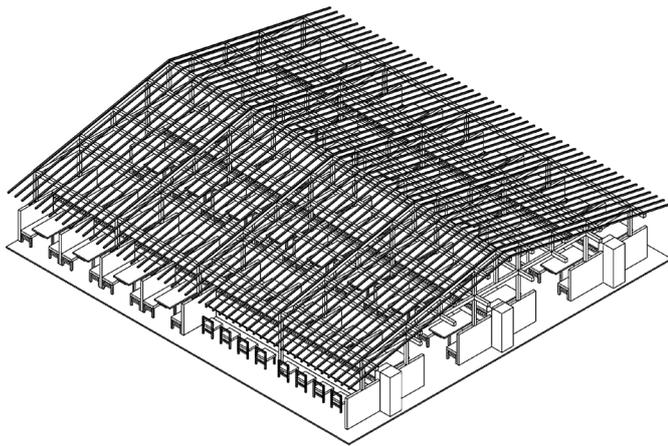
1. 意匠登録第1671153号 回転寿司店の内装	1
2. 意匠登録第1671961号 マンション共用部の内装	3
3. 意匠登録第1673700号 オフィスの執務室の内装	8
4. 意匠登録第1684384号 小売店の内装	10
5. 意匠登録第1686175号 カフェの内装	14
6. 意匠登録第1689935号 携帯電話販売店の内装	17
7. 意匠登録第1690192号 化粧品売り場の内装	19

【登録番号】 [意匠登録第1671153号（外部サイトへリンク）](#)
【出願日（出願基準日）】 2020. 4. 1
【意匠分類】 L3-7
【Dターム】 L3-7VZB
【意匠に係る物品】 回転寿司店の内装
【意匠の説明】 この意匠登録出願の意匠は回転寿司店の内装の意匠であり、支柱と屋根とからなるやぐらの下に、机、椅子、パーテーション、回転寿司搬送装置を配置した構成からなる。

【図面】

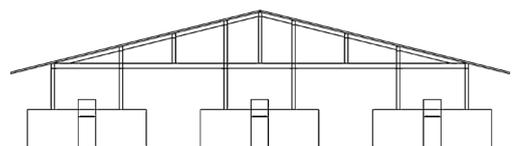
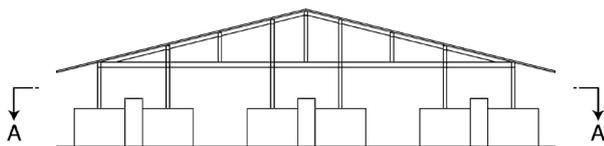
【斜視図】

【やぐらを取り除いた状態の斜視図】

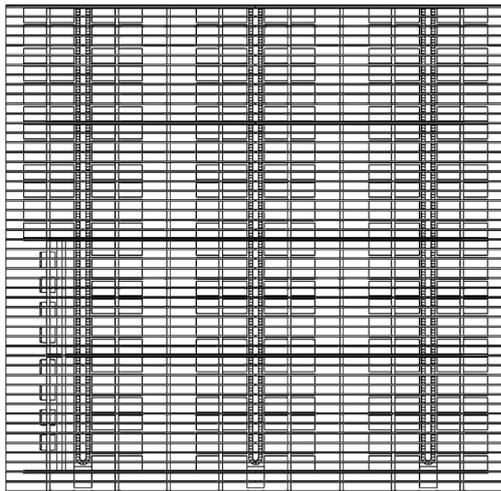


【正面図】

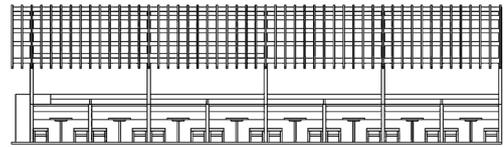
【背面図】



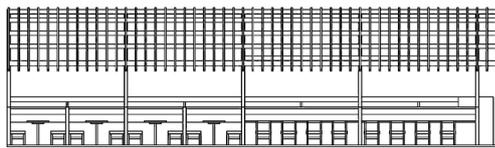
【平面図】



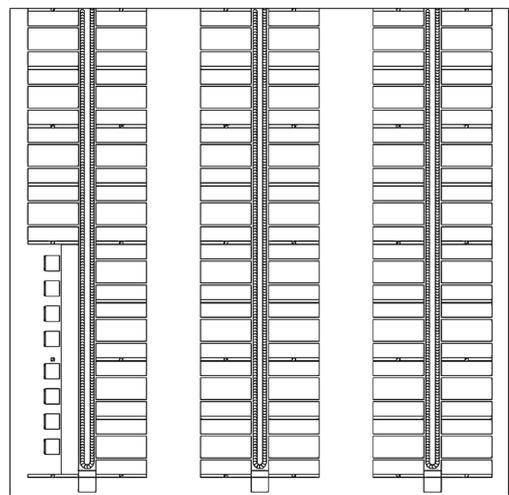
【右側面図】



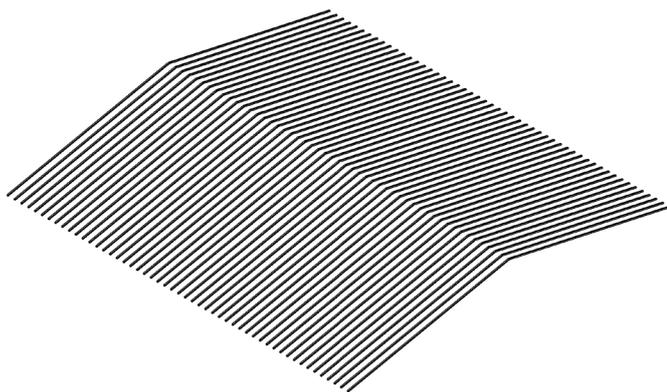
【左側面図】



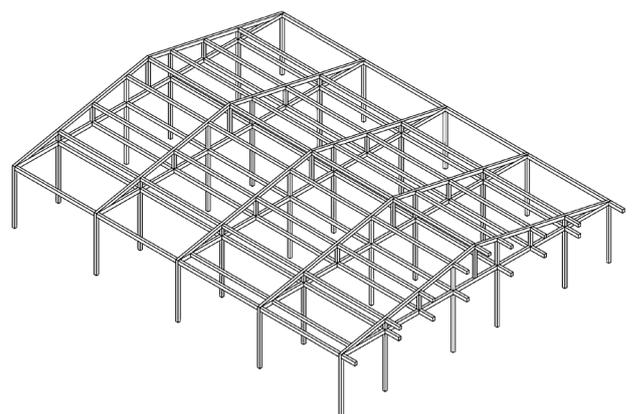
【A-A線断面図】



【やぐらの屋根部分の参考斜視図】



【やぐらの支柱部分の参考斜視図】



【意匠の特徴】

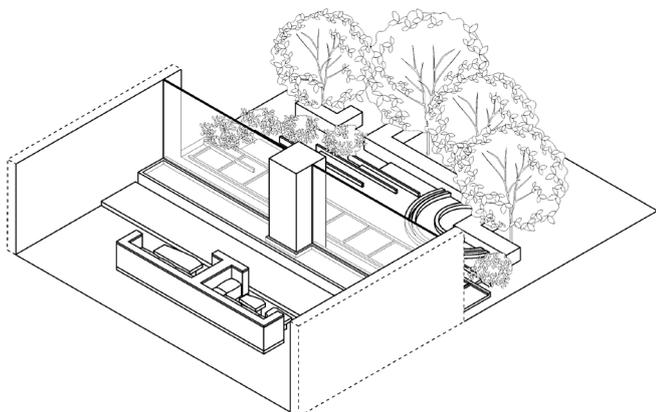
〔出願人の記載をそのまま掲載しており、特許庁は内容について審査をしていません。〕

本願意匠は、回転寿司店の店舗の屋内に、支柱及び屋根からなるやぐらを建て、その下に、机、椅子、パーテーション、回転寿司搬送装置をバランスよく配置した点に特徴がある。

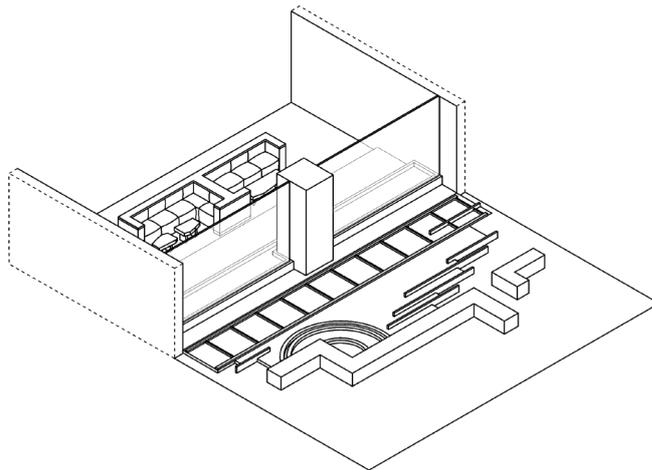
【登録番号】	意匠登録第1671961号（外部サイトへリンク）
【出願日（出願基準日）】	2020. 4. 1
【意匠分類】	L3-7
【Dターム】	L3-7VZA
【意匠に係る物品】	マンション共用部の内装
【意匠に係る物品の説明】	<p>本願意匠は、マンションの居住者やマンションへの来訪者が利用するマンション共用部の内装であり、庭屋一如の考え方にに基づき、屋外の固定された付随物である庭園部及び植栽部を含んでいる。マンション共用部のうち、第一壁、第二壁、第三壁によって囲まれた領域には、ソファー及びテーブルが設けられている。ソファーは、窓ガラスを備えた第三壁側に向かう視線を確保しやすい向きに配置されている。第三壁は、第一壁と第二壁との間に設けられており、中央の柱と、上記の窓ガラスと、を備える。窓ガラスは、柱と、第一壁及び第二壁と、図示しない天井と、によって形成された開口部に嵌め殺しの状態で設けられている。第三壁における屋内側（左側）には、当該第三壁に沿って水盤が設けられている。この水盤は、ソファー及びテーブルが配置された下段床部よりも上方に位置し、かつ第一壁から第二壁にかけて長尺に形成されている。下段床部における右側には、下段床部よりも一段高い上段床部が設けられている。この上段床部も、水盤と同様に、第一壁から第二壁にかけて長尺に形成されている。水盤と上段床部との間には、水盤から溢れる水を受け排水溝が形成されている。第三壁における屋外側（右側）には、せせらぎ・水紋をかたどった上記の庭園部と、この庭園部を囲むようにして植栽が施される上記の植栽部（植栽を施す領域）と、が設けられている。庭園部は、屋内側の上段床部よりも上方に位置するとともに、水盤よりも若干下方に位置している。マンション共用部の利用者は、ソファーに座り、第三壁側に視線を向けることで、屋内側の水盤と、屋外側の庭園部と、が同時に視界に入ることになる。これにより、利用者は、あたかも、屋内側の水盤と屋外側の庭園部とが連続しているかのような印象を受ける。さらに、庭園部は、植栽部によって囲まれているので、利用者は、屋外の植栽部における景色を、庭園部の借景として鑑賞することができる。</p>
【意匠の説明】	<p>実線で表した部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。屋外の領域を示す参考平面図において赤色で着色された部分は、屋外の領域である。各部の名称を示す参考平面図及び各部の名称を示す参考斜視図1、2において、緑色で着色された部分は植栽を施す部分であり、青色で着色された部分は水が張られている部分であり、水色で着色された部分は透明な窓ガラスが設けられている部分である。</p>

【図面】

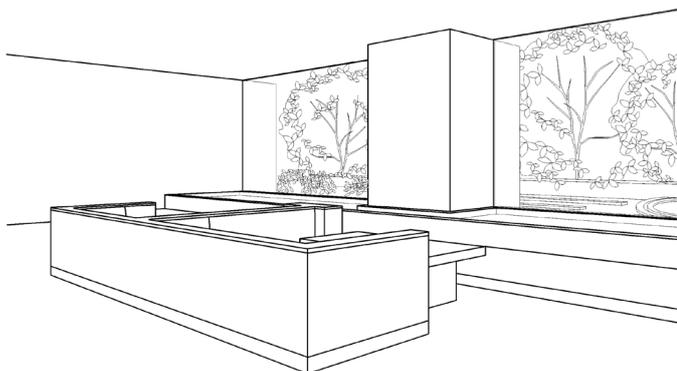
【正面左方向からの斜視図】



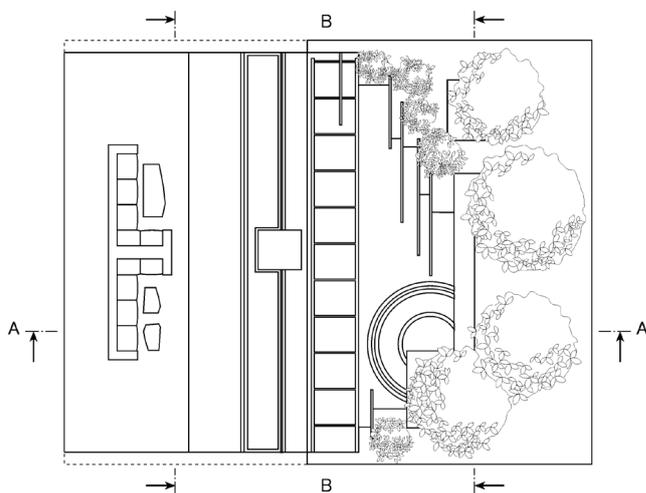
【植栽を除いた正面右方向からの斜視図】



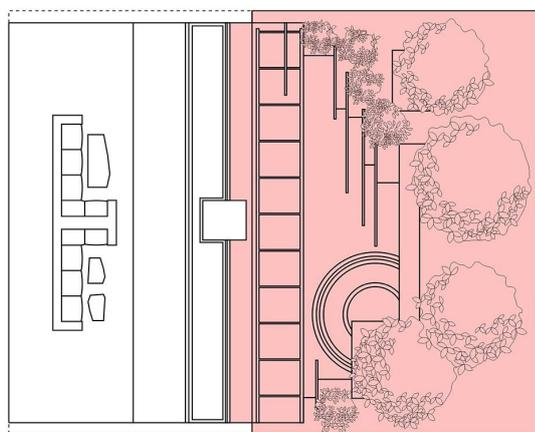
【屋内から屋外を見た正面左方向からの斜視図】



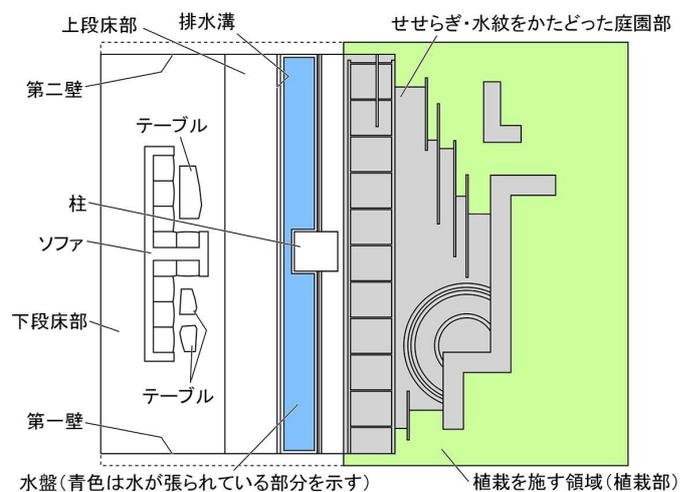
【平面図】



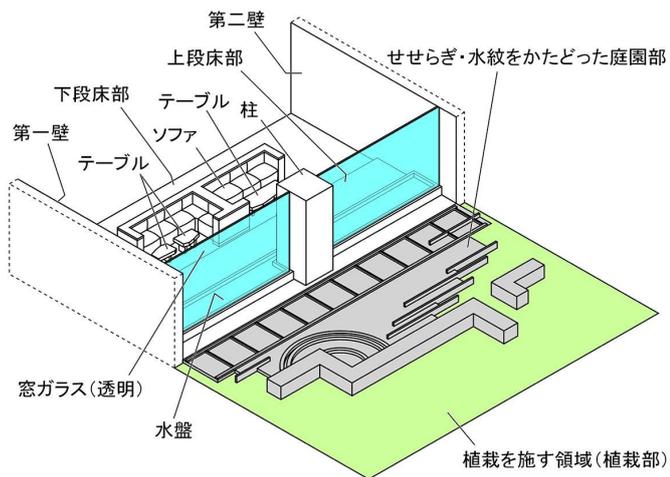
【屋外の領域を示す参考平面図】



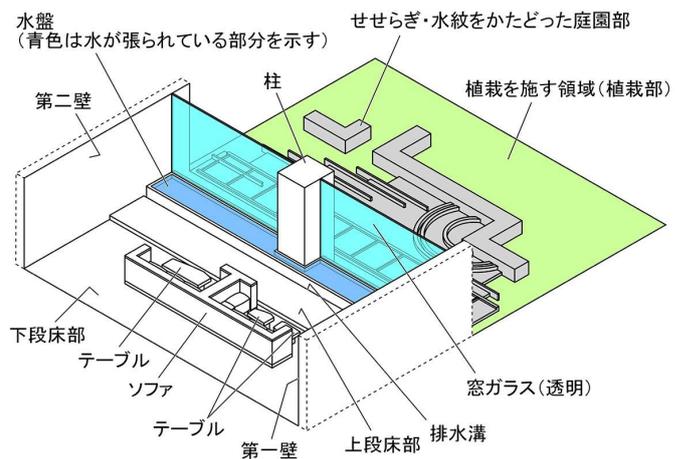
【各部の名称を示す参考平面図】



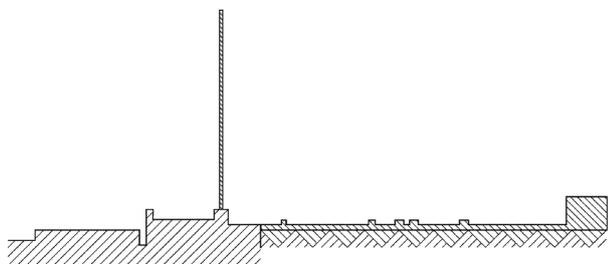
【各部の名称を示す参考斜視図1】



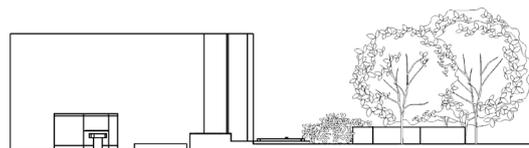
【各部の名称を示す参考斜視図2】



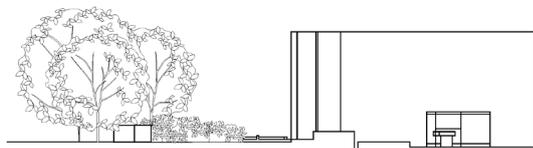
【B-B部分におけるA-A線拡大端面図】



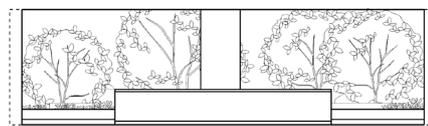
【第一壁を透過させた正面図】



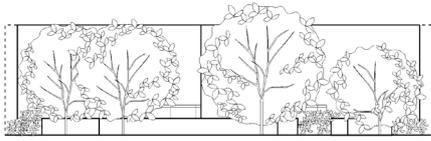
【第二壁を透過させた背面図】



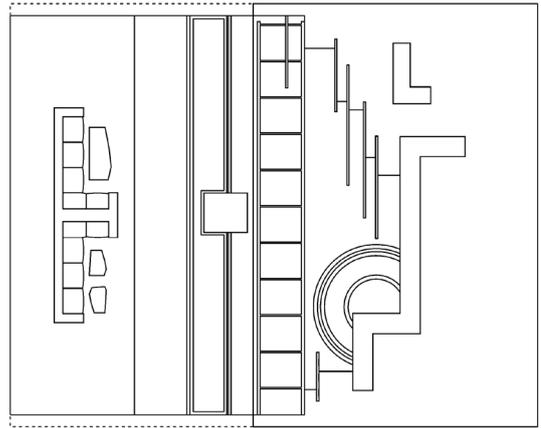
【左側面図】



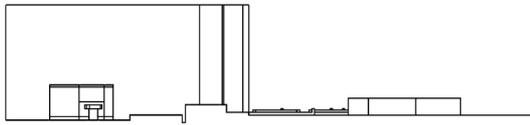
【右側面図】



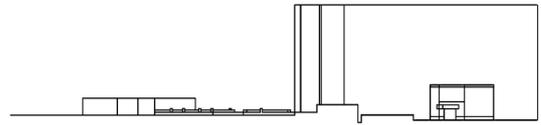
【植栽を除いた平面図】



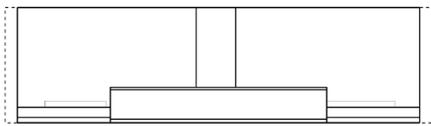
【植栽を除くとともに第一壁を透過させた正面図】



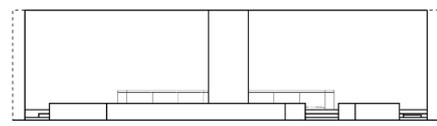
【植栽を除くとともに第二壁を透過させた背面図】



【植栽を除いた左側面図】



【植栽を除いた右側面図】



【実施状態を示す参考図】



【登録番号】 [意匠登録第1673700号（外部サイトへリンク）](#)

【出願日(出願基準日)】 2020. 4. 1

【意匠分類】 L3-7

【Dターム】 L3-7VZA

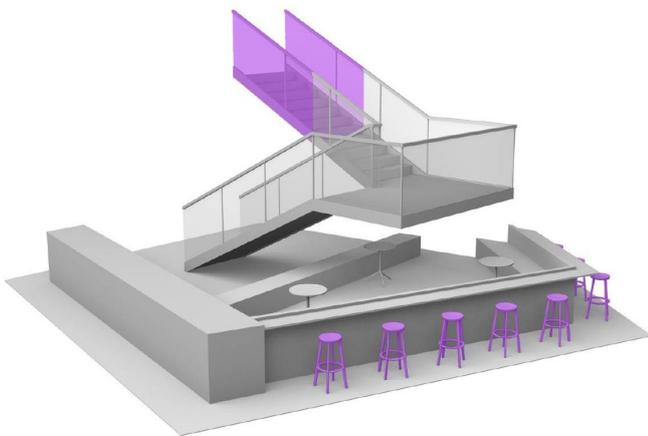
【意匠に係る物品】 オフィスの執務室の内装

【意匠に係る物品の説明】 この内装は、異なるフロアを繋ぐ階段部分を含むものであり、階段の周囲は、例えば打合せや休憩等に使用することが可能である。

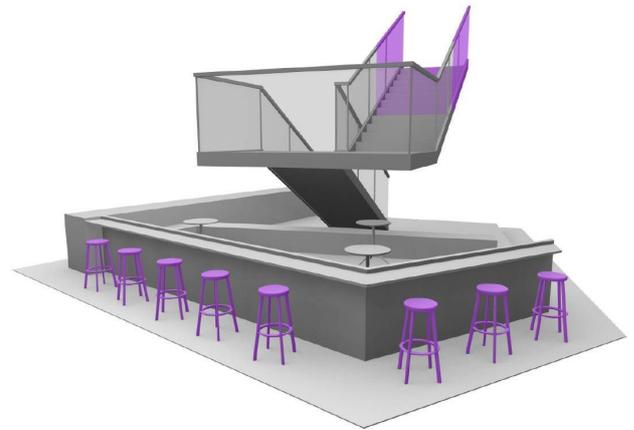
【意匠の説明】 紫色で着色された部分以外の部分が、意匠登録を受けようとする部分である。各図の表面部全面に表された濃淡は、いずれも立体表面の形状を特定するためのものである。「透明部を示す参考斜視図」において水色で着色された部分は、透明である。

【図面】

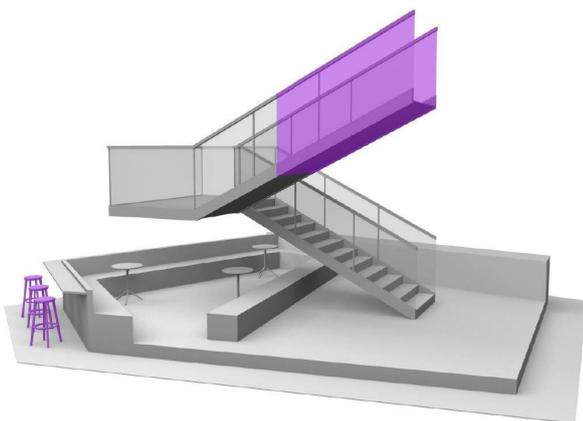
【斜視図(1)】



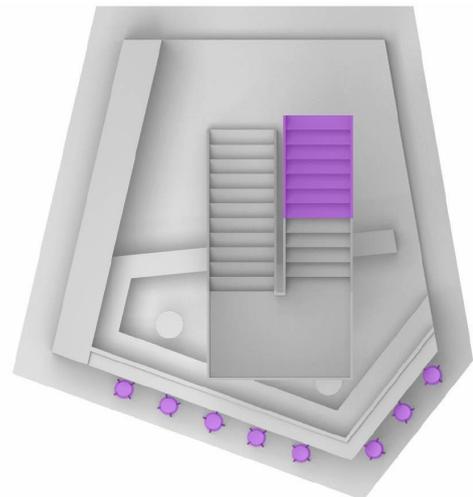
【斜視図(2)】



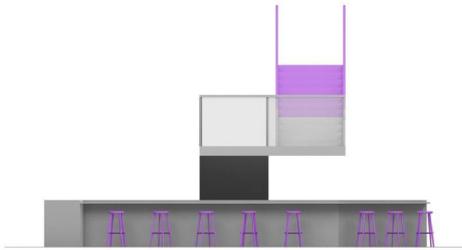
【斜視図(3)】



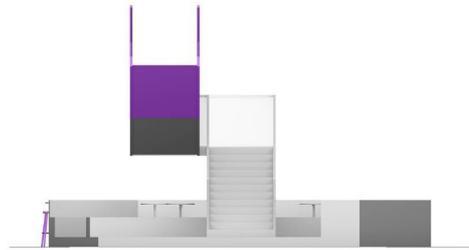
【平面図】



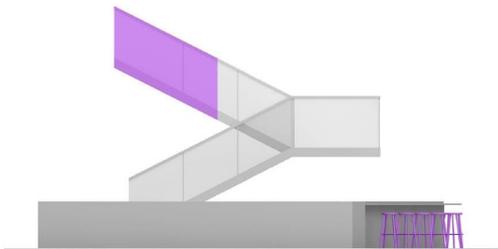
【正面図】



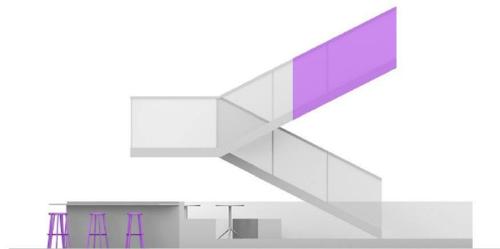
【背面図】



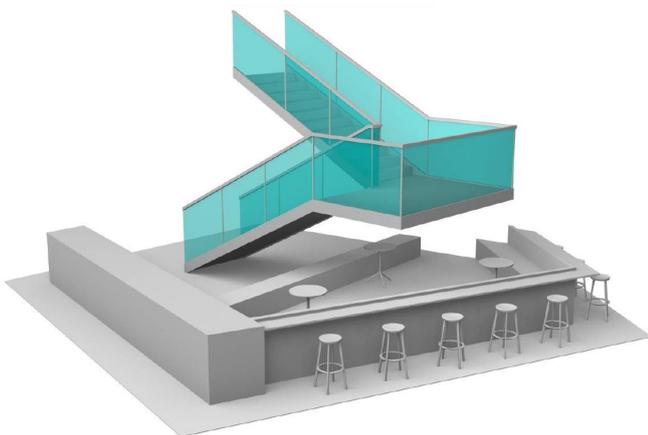
【左側面図】



【右側面図】



【透明部を示す参考斜視図】



【登録番号】 [意匠登録第1684384号（外部サイトへリンク）](#)

【出願日（出願基準日）】 2020. 5. 1

【意匠分類】 L3-7

【Dターム】 L3-7VZA

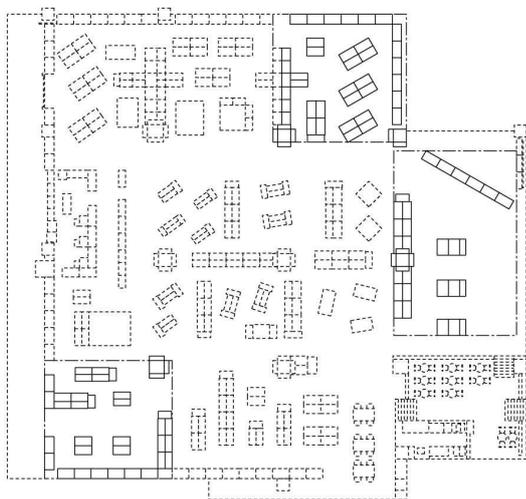
【意匠に係る物品】 小売店の内装

【意匠に係る物品の説明】 本願に係る小売店は、店舗内の売り場が、市場調査やPOS分析等をもとに設定されたメインテーマ（例：快眠、ペット、DIY、家事を楽にする便利グッズ等）及び当該メインテーマと関連するサブテーマに基づいて構成され、当該各売り場は、高さを統一した什器により仕切られている。

【意匠の説明】 参考平面図において表した各矢印は、当該矢印の始点に記載した数字が斜視図1乃至3にそれぞれ対応した視点の位置と向きをあらわしたものである。平面図において実線で表した部分及びそれらに対応する斜視図1乃至3が、意匠登録を受けようとする部分である。

【図面】

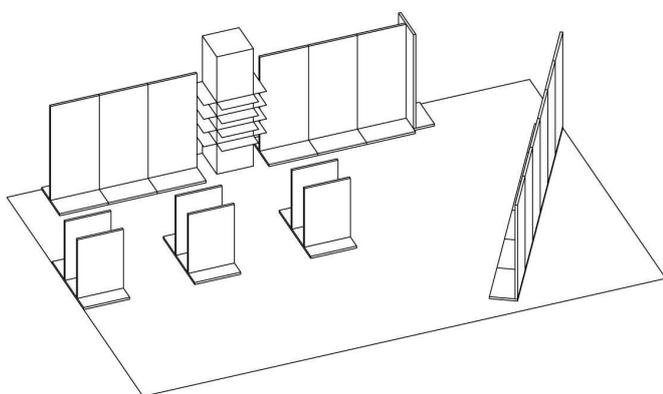
【平面図】



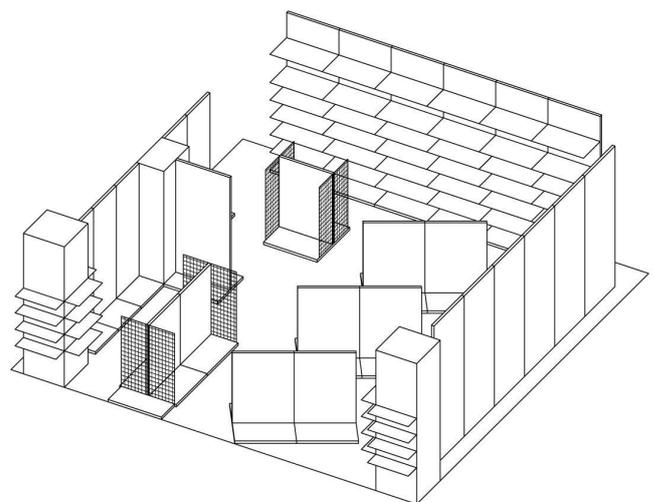
【参考平面図】



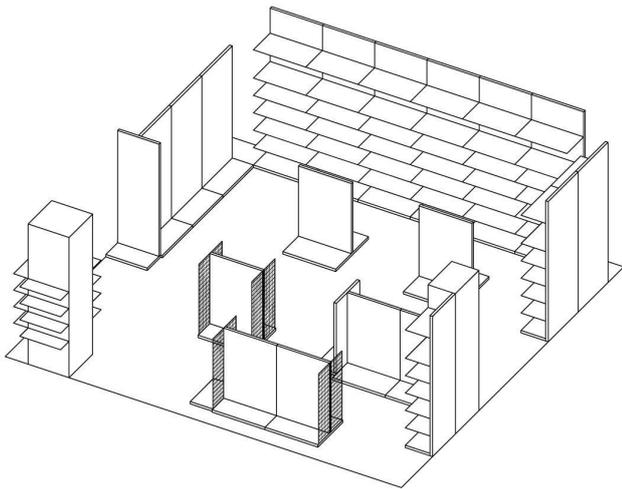
【斜視図1】



【斜視図2】



【斜視図3】



【斜視図1周辺の使用状態を示す参考写真2】



【斜視図3周辺の使用状態を示す参考写真1】



【斜視図1周辺の使用状態を示す参考写真1】



【斜視図2周辺の使用状態を示す参考写真】



【斜視図3周辺の使用状態を示す参考写真2】



【その他使用状態を示す参考写真1】



【その他使用状態を示す参考写真2】



【その他使用状態を示す参考写真3】



【その他使用状態を示す参考写真4】



【その他使用状態を示す参考写真5】



【意匠の特徴】

〔出願人の記載をそのまま掲載しており、特許庁は内容について審査をしていません。〕

一般的な小売店舗では、「調理器具」「文房具」「寝具」といった一のキーワードに基づくカテゴリ毎に商品を陳列する手法が主流であるが、近年のインターネット環境等の整備により急速に普及したオンラインショッピングでは、複数のキーワードから商品を検索する方法が一般的である。

その結果、例えば「調理器具」「文房具」「寝具」といった単一のキーワードに基づき陳列された小売店舗は、ユーザーにとって買いづらい状況となっており、実際、複数のキーワードに基づく商品検索を小売店舗において実現するためには、売り場全体をくまなく回る必要が生じていた。

そこで、市場調査や POS 分析等をもとに設定したメインテーマ(例:快眠、ペット、DIY、家事を楽にする便利グッズ等)と、当該メインテーマと関連するサブテーマとを設定し、高さを統一した Gondola を設置することで複数のキーワード(メインテーマ及びサブテーマ)から構成される売り場構成(小売店舗の内装)を実現した。

より具体的には、参考平面図上、「丸数字1」で示した入り口部分はネットショップにおけるトップページに該当するようなお勧め商品を陳列するために用いられる。

また、参考平面図上、ピンク色に着色された陳列棚(以下、「メインテーマ用陳列棚」という。)は他の陳列棚(以下、「サブテーマ用陳列棚」という。)よりも少なくとも 90 センチは高いものを採用し、売り場をメインテーマごとに仕切る役割を果たしている。サブテーマ用陳列棚は、メインテーマを細分化したサブテーマに関連した商品の陳列に用いられ(例えば、「ペット」というメインテーマに関連する売り場では、「芳香剤」「ペットの爪のかかりづらいカーテン」といった商品を陳列する。)、一つの共通テーマ(キーワード)を有する商品がまとまりよく陳列された一つの空間が創出される。なお、参考平面図上、水色に着色された陳列棚は、メインテーマ用陳列棚よりは低く、サブテーマ用陳列棚よりは高い陳列棚であるが、このような棚を用いてメインテーマ内の用途・機能の共通する商品を仕切る場合もある。

そして、メインテーマ用陳列棚は、上述のとおり、サブテーマ用陳列棚よりも高いものを用いることにより各テーマの売り場を物理的・視覚的に一定程度仕切る役割を果たしてはいるものの、隣接する売り場(テーマ)と完全に仕切られてはおらず、隣接する関連テーマの売り場に移動しやすい導線が確保され

[特徴記載書の様式で定められた文字数を超過した記載部分は不掲載としています。]

【登録番号】 [意匠登録第1686175号（外部サイトへリンク）](#)

【出願日（出願基準日）】 2020. 6. 4

【意匠分類】 L3-7

【Dターム】 L3-7VZA

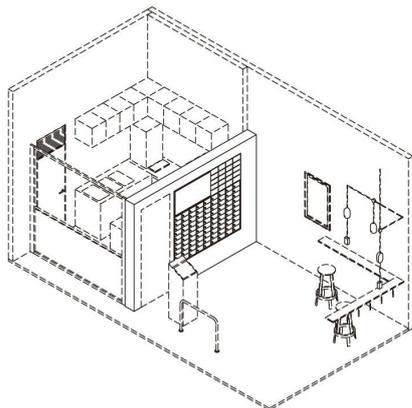
【意匠に係る物品】 カフェの内装

【意匠に係る物品の説明】 このカフェは、カフェ利用者用スペースと厨房とからなり、その境には、飲食物等の収納及び受け渡しに用いるロッカーを備えた間仕切りが設けられている。ロッカーは、その両面から飲食物等を出し入れすることが可能となっており、店舗において、店舗スタッフは、厨房側からロッカーに飲食物等を入れ、利用者は、カフェ利用者用スペース側からロッカーに入れられた飲食物等を受け取ることができる。

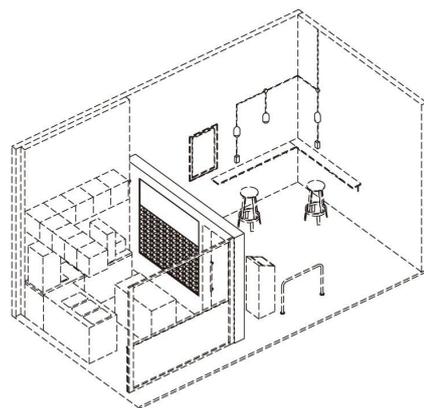
【意匠の説明】 実線で表したロッカーを備えた間仕切り、ロッカー、カフェ利用者用スペース側においてロッカー上部左側に配されるディスプレイとロッカー上部右側に配される井桁形状の照明、及び厨房側においてロッカー上部に配されるパネルが、意匠登録を受けようとする部分である。

【図面】

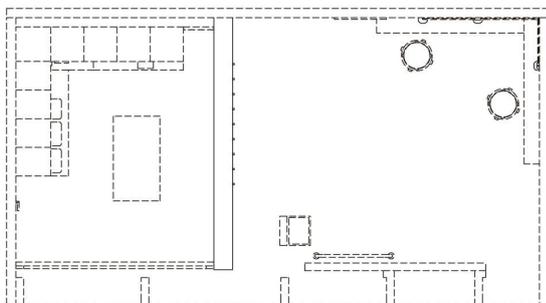
【天井、正面の壁、柱及び入口、右の壁を省略した右斜め上方斜視図】



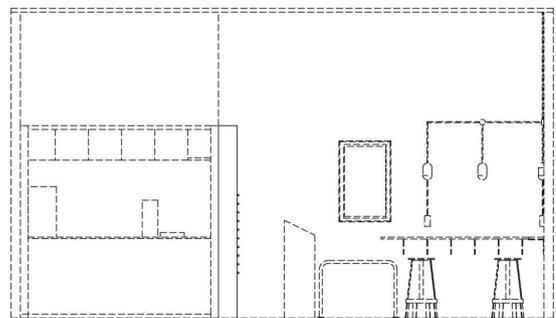
【天井、正面の壁、柱及び入口、左の壁を省略した左斜め上方斜視図】



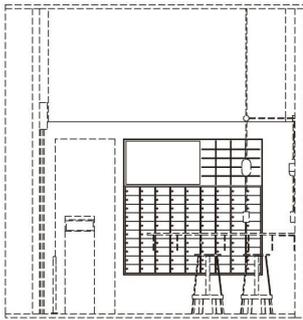
【天井を省略した平面図】



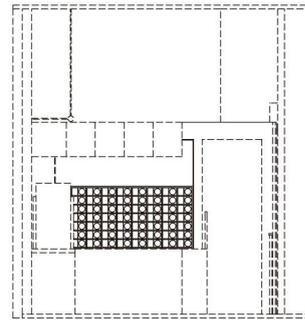
【正面の壁、柱及び入口を省略した正面図】



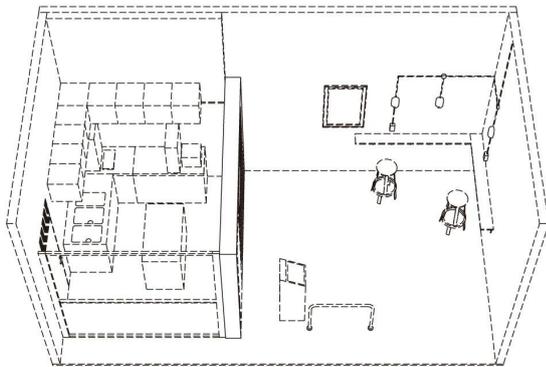
【右の壁を省略した右側面図】



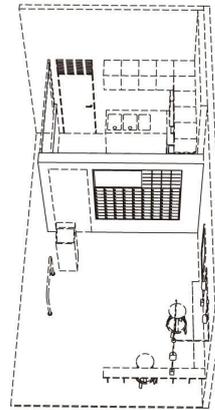
【左の壁を省略した左側面図】



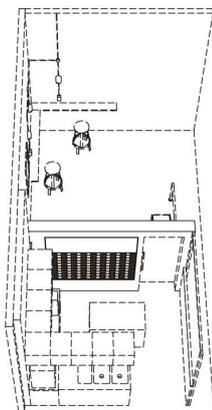
【天井、正面の壁、柱及び入口を省略した正面上方透視図】



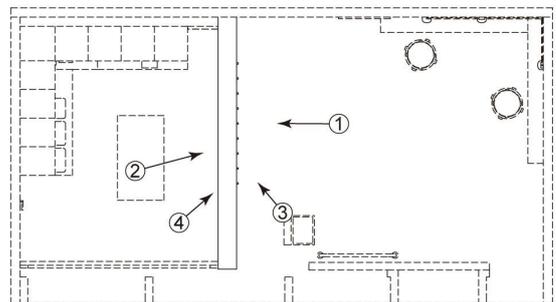
【天井、正面の壁、柱及び入口、右の壁を省略した右上方透視図】



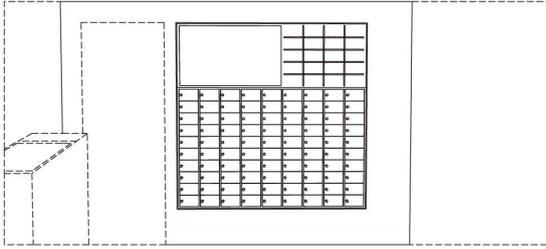
【天井、正面の壁、柱及び入口、左の壁を省略した左上方透視図】



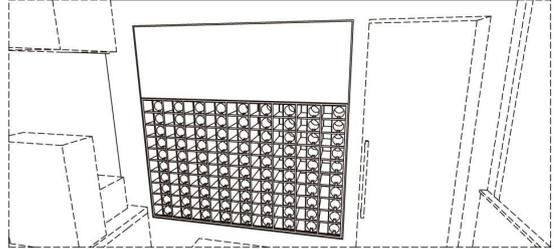
【矢視の方向を示す参考平面図】



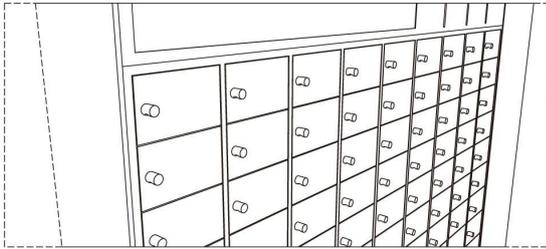
【矢視1斜視図】



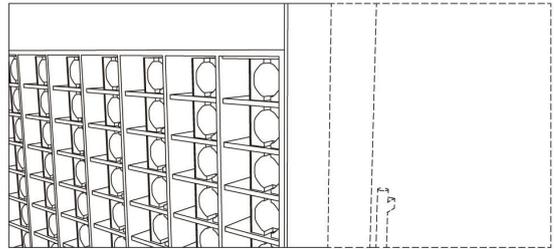
【矢視2斜視図】



【矢視3斜視図】



【矢視4斜視図】



【実施例参考図】



【登録番号】 [意匠登録第1689935号（外部サイトへリンク）](#)

【出願日（出願基準日）】 2020. 8. 27

【意匠分類】 L3-7

【Dターム】 L3-7VZA

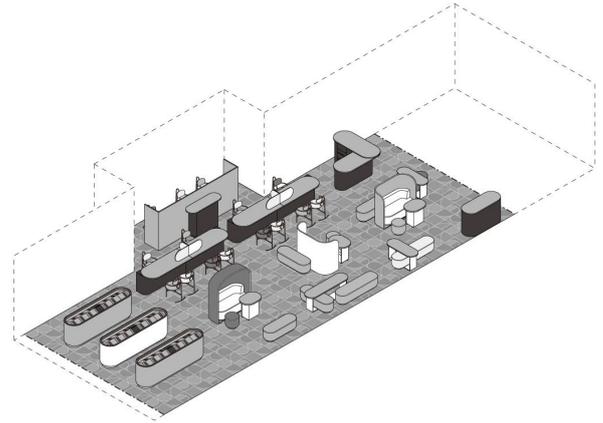
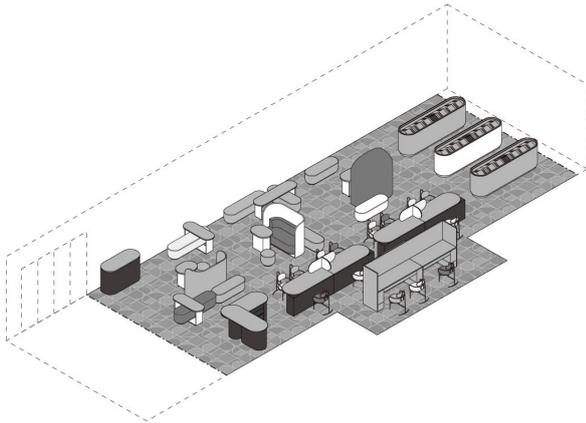
【意匠に係る物品】 携帯電話販売店の内装

【意匠の説明】 実線で表した部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。一点鎖線は、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分とその他の部分との境界のみを示す線である。図面上表された明暗部は、明度差を表すものである。

【図面】

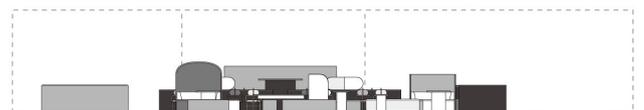
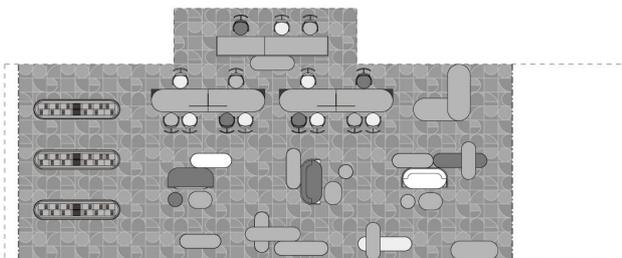
【天井、右壁面及び背側壁面を省略して表した斜視図】

【天井、左壁面及び正面側壁面を省略して表した斜視図】



【天井を省略して表した平面図】

【手前側壁面を省略して表した正面図】



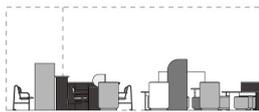
【手前側壁面を省略して表した背面図】



【手前側壁面を省略して表した右側面図】



【手前側壁面を省略して表した左側面図】



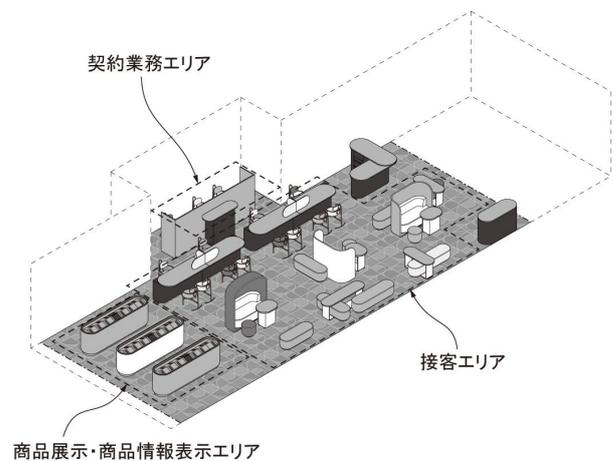
【天井及び壁面を省略して表した使用状態を示す参考斜視図1】



【天井及び壁面を省略して表した使用状態を示す参考斜視図2】



【天井、左壁面及び正面側壁面を省略して表した参考斜視図】



【登録番号】 [意匠登録第1690192号（外部サイトへリンク）](#)

【出願日（出願基準日）】 2020. 10. 1

【意匠分類】 L3-7

【Dターム】 L3-7VZA

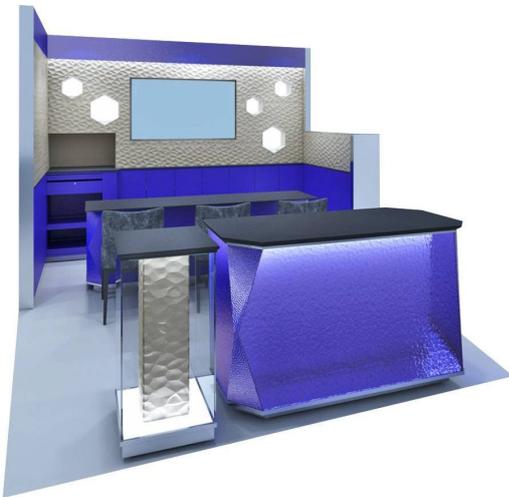
【意匠に係る物品】 化粧品売り場の内装

【意匠に係る物品の説明】 この内装は、主に百貨店等に設けられる化粧品売り場の内装であり、商品の展示や販売、接客等に使用される。

【意匠の説明】 什器Bの最外周側面は、透明である。「壁面に設けられた商品展示部の部分拡大図」に示すとおり、壁面に設けられた略六角形の部分は、背面側に向かって凹み、商品を展示することができる。ピンク色で着色された部分以外の部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。

【図面】

【左方斜視図】



【右方斜視図】



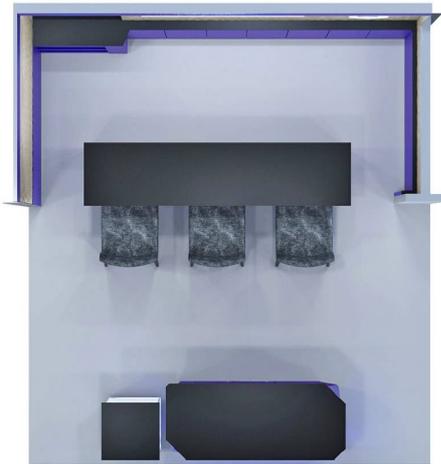
【正面図】



【手前側の壁を省略して表した背面図】



【平面図】



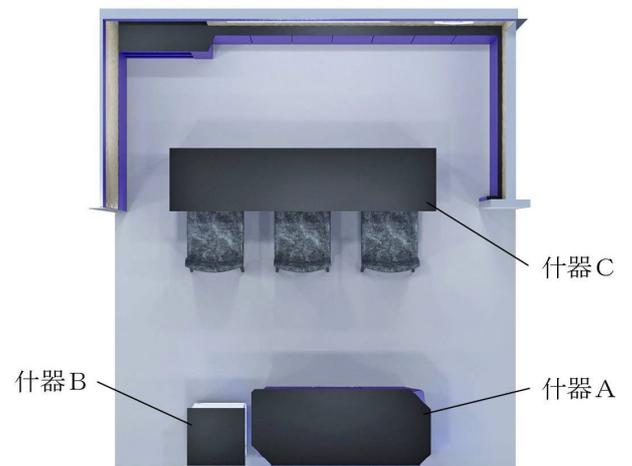
【手前側のパネルを省略して表した左側面図】



【手前側のパネルを省略して表した右側面図】



【平面参考図】



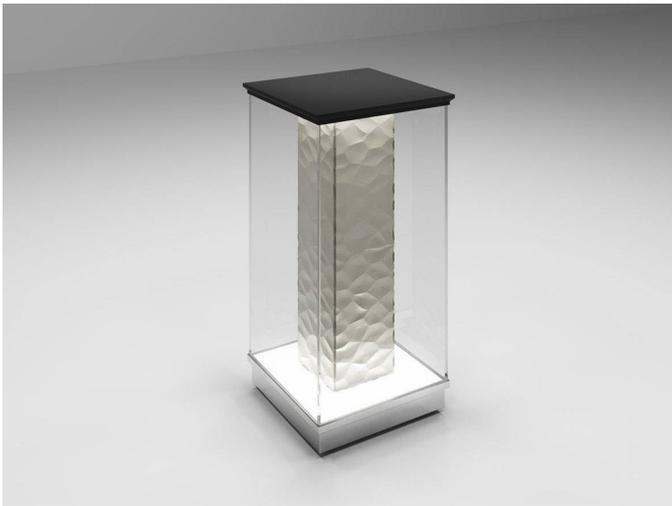
【什器Aの前方斜視図】



【什器Aの後方斜視図】



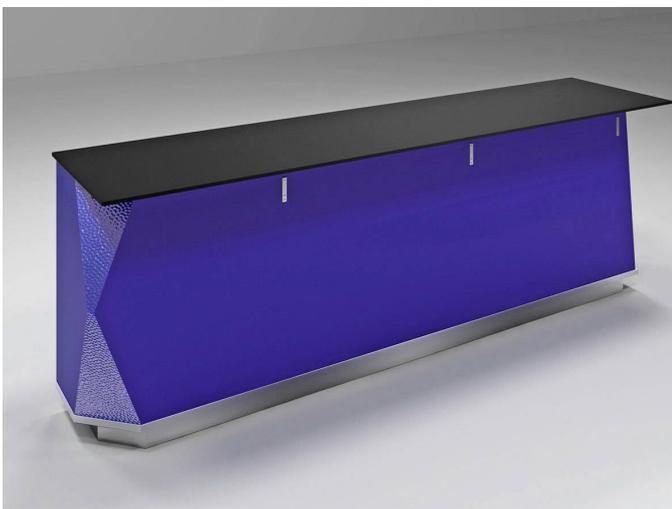
【什器Bの前方斜視図】



【什器Bの後方斜視図】



【什器Cの前方斜視図】



【什器Cの後方斜視図】



【壁面に設けられた商品展示部の部分拡大図】

